

市立銚子高校 同窓会だより

銚子市立銚子高等学校
同窓会報
第8号

発行
銚子市春日町2689番地
TEL 0479 (25) 0311
FAX 0479 (23) 4441
市立銚子高校同窓会
発行責任者 杉山俊明
編集長 岡根重雄
印刷
三友舎印刷

再構築を めざして



同窓会会長
杉山 俊明

市立銚子高校同窓会会員の皆様には、平素より同窓会運営に際し、ご理解、ご支援を頂き誠に有り難うございます。お陰様を持ちまして、同窓会の運営も滞りなく行うことが出来、事を心より御礼を申し上げます。さて、私は就任以来同窓会組織の再構築を掲げてまいりましたが、この2年間徐々にではありますが形が見えてきた気が致します。本年2月7日に行なわれた役員・幹事の新年会には、昨年同様70名程の参加を頂き、6月28日の総会前の議案審議幹事に於いても多数の参加を頂

き活発な意見交換を行うことが出来ました。7月26日に行なわれました同窓会総会に於いては、講演会に48年度卒業で、過去に我が校の事務長も務められ本年市役所を退職した田邊久氏をお迎えし、「陸前高田市での2年間」の演題で講演を頂きました。東日本大震災は自然界の前では人間の存在が如何に小さく弱いものであるかを思い知らされました。しかし、そこから再び立ち上がることが出来るのが人間の強さでもあります。あれから4年再び自然災害の脅威が取り沙汰されている今、田辺氏のお話は震災の教訓を改めて認識させられるものでした。また、総会後の懇親会に於きましては、恒例となりました「還暦同窓会」に多数の同窓生の参加を得て当時の先生方と共に大いに話が盛り上がったようでした。さて、同窓会組織再構築につきましては、各委員会の見直しをさせて戴き、組織委員会を廃止し、総務・事業・広報委員

会の3委員会とさせて戴きました。総務委員会は平野委員長、江畑副委員長、事業委員会は島田委員長・伊勢崎副委員長、広報委員会は岡根委員長にお願いをし、今後各委員会で委員の人事を幹事の中よりお願いし事業計画を立てて行く事になります。幹事の皆様には就任ご依頼がありましたら、ご協力の程宜しくお願い致します。また、学校の人事異動に伴い早川昌二先生が校長に就任され、教頭に平山公治先生が、事務長に高森良文氏が着任されました。早川校長は統合校としての市立銚子高校を内外から見

きた方です。同窓会と致しましては大変心強く思います。合わせて同窓会の事務局も長い間努めて頂いた岡根康裕先生が事務局長を退任され、嶋田敬則先生が事務局長として和田修先生が次長として就任されました。先述しました様に、同窓会組織の再構築は、統合校としての同窓会の在り方、同窓会のあるべき姿を考える事でもありません。同窓生の皆様のご理解ご協力を得て更なる発展に向け努力をしたいと存じます。

同窓会会員数(卒業生総数)

	回数	計
旧制中学校	8	668
併設中学校	2	51
旧銚子高等学校	60	18,575
普通科	48	3,500
工業化学科		
旧銚子中学・高校合計		22,794
銚子西高等学校	30	6,547
普通科	29	1,169
看護科(専攻科)	2	※73
銚子西高校合計		7,716
銚子高等学校	7	2,157
普通科	5	213
理数科	2	77
看護科(専攻科)	4	※141
総合計		34,357

※専攻科は全員本校看護科卒(平成27年3月)



平成27年7月26日(日)同窓会総会 懇親会に参加された皆さん(うらしま写真館様提供)



**太平洋の黒潮と
浪おと高く**



校長
早川 昌二

シルバーウィークも過ぎ、燈火親しむ頃となりました。杉山俊明会長をはじめ、同窓会の皆様には、益々御健勝のことと拝察申し上げますとともに、日ごろ本校の教育活動に格別の御高配を賜り、心から御礼申し上げます。

私は、この4月の異動により市立銚子高校に3度目の着任となりました校長の早川昌二と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、市立銚子高校と市立銚

子西高校が統合して8年目を迎える今年は、大変嬉しいことがございました。輝かしい歴史と伝統を誇る野球部が、統合後、春季大会で初の県大会出場を果たし、ベスト8という素晴らしい成績を収めました。

御承知のとおり、本校の設置目標は「生徒・保護者・地域のニーズに応える進学指導に重きを置く学校」「様々な教育活動の中で、生きる力と豊かな心を育む活力ある学校」です。進学指導では、単位制や45分7限授業や国・数・英の1クラス二分割授業がすっかり定着し、統合後7年間の大学合格実績では、国公立大学に370名(現役合格者数は年平均50名)、早慶上理に86名、GMARCHに329名、成成明学・日東駒専には764名など、着実に成果を上げております。また、統合時に設置されました理科においても、1期生から5期生までで医学部医学科に国公立大学5名を含む7名が進学しております。

一方、部活動では、同窓生の皆様から多大なる御支援をいただき、吹奏楽部をはじめ多くの生徒が積極的に活動しておりますが、全国大会など往時のおやまや西高の活躍を御存知の同窓生の皆様や市民の方々からは「頑張れ」との御声援を多数いただいております。今後も生徒

と教職員がともに汗を流し、精進してまいりたいと思います。

さらに、本校ではキャリア教育にも積極的に取り組んでおり、例年実施しております「職業人講話」では、昨年も13名の同窓生の方々から人生観や職業人としての在り方、社会人として求められる人間力などについてお話をいただきました。講師をお引き受けいただいた皆様には、御多用のところ御協力いただき誠にありがとうございました。今後は本校でのキャリア教育の取り組みを方向性を基礎的・汎用的能力の育成と捉え、特に自身自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づく主体的な行動力と、自らの思考や感情を律して進んで学び続けようとする「自己理解・自己管理能力」の涵養に努めてまいりますとともに、明日をより良く生き抜くために、志を持ち、夢を育むことができる高校として生徒と教職員が一丸となつて取り組んでまいります。

統合10年に向けて、三万五千に垂んとする卒業生の皆様が開き上げてこられた自由で清新澆刺たる校風に現代つ子らしい軽妙洒落な面も加わり、新たな伝統が築かれつつある母校の後輩のため、引き続き本校の教育活動へのお力添えをお願い申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を御祈念申し上げます。

進学(合格)

平成27年度進学状況

種別	普通	理数
国公立大学	19	21
私立大学	179	20
私立短大	12	0
専門学校	38	0
文科管轄外	1	—

就職

(国公立44) 一橋大1、筑波大3、北海道大1、東北大2、弘前大1、岩手大1、茨城大4、宇都宮大2、群馬大1、埼玉大4、千葉大4、東京医科歯科大1、新潟大1、山梨大1、信州大1、静岡大1、三重大1、島根大2、高知大1、国際教養大1、会津大1、前橋工科大2、千葉保健医療大4、横浜市立大1、静岡県立大1、九州歯科大1
(私立68) 早稲田大2、慶應義塾大2、上智大1、学習院大4、明治大7、青山学院大8、立教大3、中央大10、法政大15、日本大38、東洋大25、駒澤大21、専修大27、成蹊大7、千葉工大21、國學院大7、帝京大21、大東文化大30、東海大7、立命館大1、千葉科学大24他

(公務員4) 銚子市、東庄町、茨城県、東京都
(民間企業6) かとり農協2、ヤマサ醤油1、DIC(旧大日本インキ)2、新日鐵住金1



吹奏楽部 東関東大会出場 金賞受賞



部活動名	部員数		各部の活動内容および主な結果など
	男子	女子	
野 球	29	5	春季県大会ではベスト8進出を果たしました。選手権千葉大会は初戦敗退という結果になりましたが新チームでは甲子園出場を目標とし努力を続けています。
陸 上 競 技	10	26	県高校総体陸上競技大会男子5000mに出場。結果は予選敗退。秋の新人大会は多くの選手が県大会に出場できるよう努力したいと思います。千葉県選手権大会、女子三段跳び、2名出場。
弓 道	10	25	昭和の時代には全国総体や団体等に何度も出場する強豪校でした。平成に入り27年、選手の意識改革と技術力の向上を図り、古豪復活となるよう、日々の稽古に精進したいと思います。
剣 道	6	4	関東大会県予選会では団体男女と女子個人ともに一回戦を突破しました。総合体育大会では女子団体と女子個人で県大会出場を決めました。地区代表として1勝をおさめました。1年生チームでも勝ち進めるよう頑張りたいと思います。
柔 道	2	0	総体地区予選で60kg級、66kg級で第3位。新人戦で、地区代表を目指します。
卓 球	10	7	女子関東大会県予選(団体戦)に出場。総体も女子が団体・個人戦で出場。1年男子が7名入部し、秋の新人戦では期待したいところです。
バドミントン男子	27	0	関東大会県予選(団体戦)、総体県大会(個人戦)で県大会に出場。新人戦の県大会出場を目指して、練習に励んでいます。
バドミントン女子	0	34	関東大会(団体戦)県大会出場。高校からバドミントンを始めたメンバー(3年生10人)で県大会出場を果たしました。
ソフトテニス	15	15	男子団体県大会出場。きらめき大会(男子個人)4回戦進出(11月実施)
バスケット男子	25	1	総体県大会出場にあと一勝と迫ったが、惜敗。11月の新人戦へ向けて、日々努力を継続します。
バスケット女子	0	17	関東大会県予選・総体県予選ともに出場できず。11月の新人戦に向けて、日々の練習に取り組みます。
サ ッ カ ー	41	4	関東大会県予選・総体県予選ともに出場できませんでした。選手権予選は1回戦敗退でしたが、リーグ戦、合宿等を通してチーム力をアップさせ、さらなる向上を目指して頑張っていきたいと思います。
ラ グ ビ ー	10	3	春の県大会は強豪校との闘いとなり接戦を制することが出来ず惜敗に終わりました。6月には7人制の県大会、9月にはインターハイ予選もあるので、部員一同気持ちを一つにして、壁を乗り越えるべく課題に対して毎日毎日真剣に取り組んでいきます。
硬 式 テ ニ ス	14	13	新人戦地区予選で女子ダブルス準優勝。県ベスト16を目指しています。
バ レ ー 男 子	14	4	関東県大会はブロック予選敗退。総体県大会は出場権を獲得することが出来ました。個人、チームともにレベルアップを果たすべく練習に励んでいます。
バ レ ー 女 子	0	20	総体：県大会出場も一回戦敗退。県大会での上位進出をめざし、日々練習中です！
空 手 道	8	7	千葉県高校総体男子団体組手ベスト16、女子団体組手ベスト8、男子個人組手 山口峻矢・久保貴裕ベスト32、女子個人組手 岩井鈴鹿ベスト16
特別部(水泳)	1	3	県総体(6月)県高校選手権(8月)県新人(9月)に出場。高校にプールがないためスイミングクラブでの練習が中心ですが自己記録向上に向けて日々努力を重ねています。
吹 奏 楽	2	31	6月には第2回東総地区連合音楽会に参加。8月の千葉県吹奏楽コンクール予選・本選を上位金賞で抜け、9月の東関東大会に出場しました。
美 術	1	13	文化祭、千葉県高等学校総合文化祭、東総地区美術部展にて展示。油彩画、水彩画、ペン画、立体などを制作しています。
書 道	3	29	全日本高校・大学書道展では準優秀賞13名、席書大会では教育長賞1名、千葉日報社賞2名受賞。
華 道	0	17	文化祭展示や小原流花展に作品を展示しています。また、東京地区のいけばな競技会にも参加し、優秀な成績を修めています。
茶 道	0	34	毎週木曜日、礼法室でお点前の練習に励んでいます。
演 劇	3	11	春と秋の地区発表会、文化祭、新入生歓迎公演、クリスマス公演など年間を通じて多数の公演をおこなっています。台本選びから演出まで部員が力を合わせ、一つの劇を作り上げます。
写 真	7	12	普段は部員各自が自分の作品を撮るフィールドワークが中心です。市銚子では各自がお気に入りの一枚を展示しました。また今後はプロの写真家をお招きして、ワークショップを行う予定です。
科 学	36	19	日頃の研究成果をもとに外部発表、科学コンテストに積極的に参加しています。独自の取り組みとして、博物館・動物園への研修やカメの生態調査なども行いました。
文 芸	1	32	4月に部誌を発行。文化祭では、作品・部誌の展示と短編アニメを制作上映。7月には東総地区合同漫画展に参加しました。
英 語	1	18	初の男子部員を迎え、19名で活動しています。文化祭では、学校のプロモーションビデオ "Happy feat. 市立銚子高校" を作成・上演しました。
J R C	2	27	文化祭では展示と小物(革アクセサリやミサンガ、等)の販売を行いました。地区メンバー協議会、トレセン、救急法への参加や老人ホーム訪問を予定しています。
家 庭	0	13	月1回程度の活動を通して、様々なお菓子作りに挑戦しています。文化祭では毎年恒例の手作りお菓子を販売しています。
生徒会本部	3	3	4月の部活動紹介、5月の生徒総会、部員調査、6月の文化祭の文化委員会とともに企画運営を行いました。7月には生徒会役員選挙があり、新体制になりました。
合 計	281	447	



総会・懇親会に143名参加



東京支部長 安藤徳司氏

同窓会報告
 平成27年6月14日(日)
 御徒町のオーラムにて市立銚子高等学校同窓会東京支部総会が開かれました。

平成27年度 同窓会 会計

(単位 円)

収入金額	5,662,000
支出金額	5,662,000
差引残高	0

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 入会金	1,248,000	1,292,000
2 会費	1,000,000	1,170,000
3 寄付金	0	0
4 同窓会基金	2,000,000	2,024,840
5 繰越金	1,413,764	1,251,350
6 雑収入	236	360
収入合計	5,662,000	5,738,550

支出の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 卒業記念品費	184,080	184,305
2 行事補助費	100,000	70,000
3 会運営費	50,000	21,095
4 会議費	100,000	41,730
5 委員会費	10,000	4,550
6 記念品費	50,000	215,000
7 接待交際費	100,000	43,000
8 印刷費	500,000	453,600
9 通信運搬費	1,500,000	1,142,110
10 奨励金	200,000	0
11 慶弔費	100,000	23,800
12 同窓会基金	2,500,000	2,024,840
13 予備費	267,920	100,756
14 繰越金	0	1,413,764
支出合計	5,662,000	5,738,550



平成27年度 同窓会基金 会計

(単位 円)

収入金額	17,490,000
支出金額	2,000,000
年度末残高	15,490,000

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰越金	14,988,895	15,011,632
2 積立金	500,000	0
3 財政調整金	2,000,000	2,000,000
4 雑収入	1,105	2,103
収入合計	17,490,000	17,013,735

支出の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰出金	0	24,840
2 財政調整金	2,000,000	2,000,000
支出合計	2,000,000	2,024,840



同窓会 REPORT



7月26日(日)、午後3時から、講演会、懇親会の順で開催された。総参加者93名。
講演会は昭和48年3月卒業の田邊久氏が「陸前高田市での二年間」と題して、講演された。
総会では平成26年度の事業、決算の承認と平成27年度の事業計画、予算が承認された。また、執行役員が一部改選され新たに事業委員長に島田洋二郎さんが任命され顧問の校長・教頭・事務長が代わるなど7名の執行部役員の役職に変化があった。
懇親会は澤田武男さんの乾杯の御発声により始まり、和やかに、たいへん盛り上がった。同時開催の還暦同窓会には20名が参加された。



講演は 田邊 久氏

講師 田邊氏



懇親会は澤田武男さんの乾杯の御発声により始まり、和やかに、たいへん盛り上がった。同時開催の還暦同窓会には20名が参加された。

平成27年度 同窓会事業計画

3月8日(火)	3月7日(月)	2月6日(土)	1月	10月	9月30日(水)	7月26日(日)	6月28日(日)	6月14日(日)	5月1日(金)	4月10日(金)	4月7日(火)	
卒業証書授与式 本校	同窓会入会式 本校	(幹事委託式含む) 地元幹事会 18時 銚子プラザホテル	第4回執行部会議(地元幹事新年会、次年度の準備等)	第3回執行部会議(幹事会・総会の総括・講師の選定・予約)	「同窓会だより」(第8号)発行	総会 16時(事業会計・その他について) 懇親会 17時(還暦同窓会・昭和49年卒)	講演会 15時 講師 田邊 久氏(昭和48年卒) 演題 「陸前高田市での2年間」	第1回幹事会 (事業・会計・役員・総会他について)	第2回執行部会議 (総会について)	東京支部総会 第1回幹事会 13時30分 本校 オーラム(御徒町)	教職員歓送迎会 第1回執行部会議 銚子プラザホテル 本校	入学式 本校

平成27年度 同窓会役員

役職	指 名	卒年	役職	指 名	卒年
会 長	杉 山 俊 明	昭和44年	会 計	石 橋 高 博	昭和59年
副 会 長 (東京支部長)	安 藤 徳 司	昭和41年	会 計	来 栖 真 吾	平成12年
副 会 長	平 野 恭 男	昭和45年	会 計 監 査	三 浦 衛	昭和57年
副 会 長	大 木 乃 夫 恵	昭和45年	会 計 監 査	加 瀬 隆 良	昭和61年
副 会 長	江 畑 雅 充	昭和45年	総務委員長	平 野 恭 男	昭和45年
副 会 長	伊 勢 崎 翼	昭和47年	広報委員長	岡 根 重 雄	昭和52年
副 会 長	島 田 洋 二 郎	昭和48年	事業委員長	島 田 洋 二 郎	昭和48年
副 会 長	浅 野 裕 子	昭和54年	顧 問	西 川 照 幸	昭和18年
副 会 長	高 野 幸 夫	昭和56年	顧 問	信 田 臣 一	昭和38年
副 会 長	伊 東 均	昭和56年	顧 問	宮 内 敏	昭和36年
副 会 長	笹 本 尚 子	昭和56年	顧問(校長)	早 川 昌 二	
事務局 長	嶋 田 敬 則	昭和62年	顧問(教頭)	田 中 豊 明	昭和52年
事務局 次 長	岡 根 康 裕	昭和53年	顧問(教頭)	平 山 公 治	
事務局 次 長	和 田 修	昭和56年	顧問(事務長)	高 森 良 文	昭和56年

職業人講話 1年生を対象とした、卒業生による職業に関する授業が行われました。講師の皆さんです。(敬称略)

番号	分野・職種等	お名前(敬称略)	所属
1	公務員・税務	野本 光太郎	千葉西県税事務所 収税機動課
2	研究者・太陽光発電	菅谷 武芳	独立法人産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター
3	芸術・オペラ	越智 まりこ	藤原歌劇団
4	看護師	田中 紘明	東邦大学医療センター 大森病院
5	医師	伊良部 真一郎	千葉労災病院
6	臨床心理士	樋口 亜瑞佐	社会福祉法人衆善会 児童養護施設 和敬学園
7	公務員・自衛官	齋藤 正毅	防衛省 自衛隊
8	金融・保険	中村 雅子	東京海上日動火災保険株式会社
9	通信業・営業	山田 勇太	ソフトバンクグループ
10	グランドスタッフ	加瀬 詩織	空港ターミナルサービス株式会社
11	公務員・消防士	高木 大造	旭市消防本部
12	公務員・小学校教諭	水田 裕一	銚子市立本城小学校
13	商社・営業	工藤 幸介	原田産業株式会社

第1回 2008年度 市立銚子高等学校 第一期卒業生 同窓会を終えて

2008年度卒業生同窓会を7月4日(土)、銚子プラザホテルにて開催致しました。おやまと西高が統合して7年が経ち、私たち第一期卒業生は今年で25歳となります。参加者はお世話になった先生方4名に卒業生116名の計120名と、盛大な会となりました。卒業式以来初めて会う先生、友人も多く、お互いの近況を報告し合ったり、高校当時の話で大いに盛り上がりました。またお忙しい中、市立銚子高校の大先輩である銚子市長の越川様も会場にお越し頂き、ふるさと納税についてもお話頂きました。



この時代、銚子にいろいろな海外にしようと、工夫次第で様々な活動が可能です。今後は更に在校生との交流、他年代の同窓生との交流を深め、卒業生の力を最大限に活用した母校への貢献をOBの皆様と行っていければ光栄です。どうぞ宜しくお願い致します。

この同窓会という事で、旧交を温めることを主目的とした会となりました。しかしながら、まだまだ若者パワー全開の私たち第一期卒業生は、この銚子市の財政が困難な状況下であつても、我が母校を支えていく中心となつていく自負があります。

終身会費納入者一覧

会費の納入をお願いします 年会費 1,000円

振込先：郵便局 口座名：銚子市立銚子高等学校同窓会 口座番号：00100-2-189041

平成26年9月より平成27年8月まで納入分 (卒業年順・敬称略)

一年は早いものです。つい忘れがちなので是非この機会に終身会費をお願いします。(10,000円)

昭和19年卒 福田 重敏	常世田 義雄 貝瀬 照康	山口 劭俊 昭和41年卒	赤松 正 昭和49年卒	昭和56年卒 石毛 克也	井上 雅章 伊藤 睦美	高橋 雅樹 室井 聡	濱田 岳司 宮川 裕也
昭和22年卒 (石毛)富澤重治	昭和35年卒 (嶋田)江田光子	岩瀬 昌行 安藤 徳司	(高島)佐々木良枝 (阿部)青木礼子	昭和58年卒 越智まりこ	根本 剛 坐古真規子	平成21年卒 佐藤 由依	大貫 葉月 平成26年卒
桜井 敏正 昭和23年卒	山崎 弘 昭和36年卒	昭和43年卒 平野 哲男	石橋 和子 山田 誠一	萩野谷朋子 山口みどり	伊東 寿 大川亜紀子	平成23年卒 西野健太郎	西野 梨花 松村 拓磨
丸島 博 山本 豊彦	(大久保)宮内忠男 浜野 誠一	(加瀬)古谷伸子 宮内 秀男	多田 博 吉岡 廣一	野中 顕子 小野田敏之	平成12年卒 大川 達弘	平成24年卒 相川 翔平	安藤実果子 池田 瞬
昭和26年卒 小林 敏男	昭和37年卒 伊東 輝佑	糸川 昭 (渡辺)白水光子	昭和50年卒 麻生 裕一	五十嵐俊充 滑川 和男	平成14年卒 伊藤 義宗	平成25年卒 境 秀隆	山本 佳穂 古田真裕子
昭和29年卒 嶋田 英雄	(星野)高木敦子 昭和38年卒	飯島 秋夫 林 栄一	昭和52年卒 増田 利生	昭和63年卒 沖津 毅	平成15年卒 坐古裕美子	平成24年卒 糸賀 祥吾	多田 容子 月舘 泉紀
昭和30年卒 大滝 弘次	福田 英男 昭和38年卒	昭和45年卒 (船倉)酒井 勉	昭和53年卒 篠塚 進一	平成5年卒 山内 敬樹	関 諒一 田中 夕貴	平成20年卒 森口 太輔	高木 瞳 林 真希
昭和31年卒 山崎 速雄	梶山 淑男 野村 和成	昭和48年卒 (越川)渡辺友子	宮内早百合 (橋本)鹿嶋 睦	富田さとみ 平成10年卒	林 亜祐美 神原 直弥	中村 航	
昭和34年卒	島田 幸雄	藤崎 茂男					

あの人・この人

P.S. 元気でですか？

再び内科医の道へ



外口 崇 (S45年卒)

市立銚子高校を卒業してから45年が過ぎました。遠い昔のよ...

私は昭和52年に慶應義塾大学医学部を卒業、大学院で内科学を専攻し、ニューヨークのマウ...

は10年後、20年後を見据えて政策を練り上げていく仕事や、突...

厚労省勤務中も医学の勉強は続けていましたが、退職後はブ...

現在、私は立川病院神経内科で認知症外来を担当しながら、ケアマネジャーの資格も取っ...

やかな日々を過ごしてもらえようようにすることは、我が国の喫...

アメリカ・ニューイングランドから



山本かすみ (S50年卒)

「おやま」を卒業して、かれこれ四十年になるが、最初の二十年は仕事も勉強も点々と...

ウィリアムズ大学はアメリカカ東海岸、マサチューセッツ州の北西部のウィリアムズタウ...

日本の産業発展のために (私の経験より)

隣の研究室から、御年八十歳の歴史の教授が学生と元氣よく議論している声を聞くたびに、...



竹之内 秀明 (S52年卒)

お山同窓会の皆様 S52年卒業の竹之内秀明と申します。

お山を卒業後、銚子を離れてから、ずいぶん年月が経過しま...

私は、北海道大学を卒業後、特許庁で、国家公務員として勤務していましたが、昨年6月に、



本校西側2階通路から見た特別教室棟

自社の製品を安心して販売するためには、特許で守られていることが大切です。身の回りにはあるあらゆる工業製品が特許で守られていると考えていただいて間違いありません。

特許制度の目的は、特許法第1条に記載され、「この法律は、発明の保護及び利用を図ることにより、発明を奨励し、もつて産業の発達に寄与することを目的とする」とあります。

特許法の中で私の好きな条文ですが、特許庁で働く人は多かれ少なかれ、日本の産業発達に貢献しているという自負を持って日々の仕事に当たっています。

特許庁審査官の仕事は、技術だけでなく法律を扱う仕事です。理系の大学を卒業した者が、特許庁に入ってから、法律について長い研修を受けて、審査官の仕事ができるようになります。

私は、大学で農業工学を専攻しましたので、特許庁では大きく分けて機械分野の特許出願を担当しました。その中で、ずっと同じ技術の審査でなく、家具、家電、車体、エンジン、工作機械等、色々と変化しました。特許庁では審査の業務だけではなく、審査部があります。そこでは審査結果に対する不服申し立て

を扱い、裁判所に近い仕事になります。そして、私の特許庁の外での経験を紹介しますと、つくばの産業総合研究所（産総研）で、公的研究機関の研究成果の保護と、適切な技術移転に関する業務に約2年間携わりました。また、特許とは直接は関係ありませんが、ナイジェリアの日本国大使館に、外交官として3年間勤務したこともありま。ここでは、日本とは全く環境が異なる中、日々の生活も大変で、クーデータも経験しましたが、ふつうはできない貴重な経験でした。

多くの経験の中で色々と勉強させていただきましたが、これからも日本の産業発展を願い、微力ながら貢献していきたいと思っております。

夢の都大路出場を通して



和田 和也
(H15年卒)

私は今、柏市内の小学校で担任として勤務しています。忙しい日々を送っていますが、子どもたちの笑顔に囲まれて毎日楽しく過ごしています。私がなぜ教員を目指したのか、その原点は高校時代にあります。

銚子西高校で過ごした三年間は、監督の青柳健司先生のもと、陸上競技部（長距離）で毎日ひたすら走りまわりました。当時は、千葉県トップレベルの先輩や同期、先輩に恵まれ、千葉県下でも屈指の強豪校でした。長距離種目では、毎年のように関東大会やインターハイに出場し、駅伝でも、関東大会の常連校でした。

そんな時代でも、全国高校駅伝大会に出場することは難しく、多くの先輩たちが涙を吞んできました。

そして、私が高校3年のときでした。近年まれにみる接戦で、ラスト100mまで市立船橋高校と併走。1秒差でかわして、初優勝を果たし、全国高校駅伝大会の出場権を手に入れました。悲願の「夢の都大路出場」が叶った瞬間でした。部員全員で青柳先生を胴上げし、喜びを分かち合いました。全国大会では、思うような結果は得られませんでした。後輩たちが連覇を果たし、2年連続で全国高校駅伝大会に出場しました。この結果は、自分たちの力だけではなく、青柳先生をはじめとする先生方や同窓生のみならず、そして両親のおかげなのです。人の支えなくして、このような結果は成

しえなかつたと思います。私は、指導する立場となり、日々、子どもたちと向き合っています。私が陸上競技を通じて学んだ、「人とのつながり」や「感謝する気持ち」を伝えていけたらと思っています。また、これから夢や未来に向けて努力をしていく子どもたちに少しでも尽力できたらと考えています。

今の学生の方々も人のつながりを大切にし、常に感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。そして今しかできないことがえのない時間を過ごしてもらいたいと願っています。



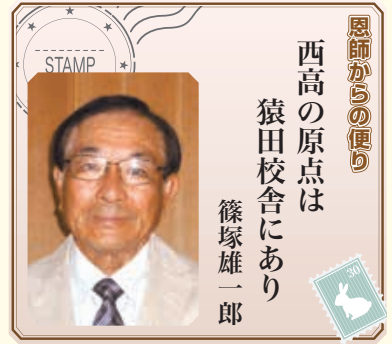
関東駅伝大会にて

恩師からの便り

西高の原点は

猿田校舎にあり

篠塚雄一郎



私は、昭和五十一年の創立から平成五年までの十七年間、体育の教員として西高に在職しました。その中でも猿田校舎で過ごした一年間が強く印象に残っています。

猿田校舎は、小さな旧猿田小学校を補修しただけの老朽化した教室とプレハブの管理棟、中央に大きな椎の木がある狭い校庭からなる、お粗末な仮校舎であり、高校の教育活動をしていくには、ほど遠い環境でした。(椎の木は、校木として新西高校舎の敷地内へ移植される)

昭和五十一年四月、銚子市文化会館に於いて開校式並びに普通科一・二九名の入学式が行われ、初代校長の塚本先生が唱えた「和」の精神を教育の柱として西高は、スタートしました。四学級(A組を担



任)の小さな学校ですが、職員間の連携が良く、生徒一人ひとりに目が行き届くなど親近感がある小規模の良さを実感しました。



体育の授業は、屋外で行われ、場所や用具が十分でない悪条件の中、生徒が楽しく意欲的に活動できる授業の工夫をしたものです。球技の授業中、ボールが隣の豚小屋や道路へ出たり、椎の木の上に乗ったりして中断することも度々でした。また、校舎にボールが当たるので漁網を防球ネット代わりに校舎を覆ったりしました。

開校して間もなく体操、卓球、剣道、バスケット、バレーボールの五つの運動部が発足しました。体育館や体操器具の無い中、渡り廊下や校庭にマットを敷いて練習したり、市内の高校に行き器具を借りて練習するなど、活動するの苦労したものです。創立四年目に体育館が完成、体操器具も揃い本格的な練習が

行われ、女子が県大会へ出場出来るようになりました。その他には、休み時間に校庭を走り、体操をした業間体操、市の体育館で行った球技大会、新校舎予定地遺跡発掘作業など、どれも懐かしい思い出です。

昭和五十二年三月、待ちに待った新校舎(生徒棟)が完成し職員生徒協力して移転作業を行いました。手狭な猿田校舎から広々とした新校舎へ移転出来るということで大いに喜んだものでした。

顧みると、猿田校舎での無からの出発、劣悪な環境にも関わらず西高の土台づくりの意気に燃えた生活は、生みの苦しみに喜びを分かち合うことができた貴重な一年間の体験であったと思います。

創立六年目にして、野球部の甲子園出場や陸上部、弓道部の全国大会出場により、部活動が大きく躍進しました。その後、職員生徒の努力により学力が向上し、大学進学が顕著になるなど、質の向上に伴い、地域から信頼され、評価も高まり、西高の発展は、目覚ましく、不動の地位を築くまでに至りました。それにしても素晴らしい学

校に成長したものです。

市立銚子高校との合併により、西高の名がなくなったことに、一抹の寂しさを感じますが、卒業生諸君の西高で過ごした思い出は、いつまでも消えることなく西高の精神とともに心に残っていることと思います。

卒業生の皆さんの益々の活躍を祈るとともに市立銚子高の発展と活躍を期待しています。



還暦同窓会 (昭和49年卒) 中央は小川先生・和久先生